



お知らせ

【「医療を止めない」被災地の病院を支援】

寄稿者:新井 和雄さん(下館ロータリークラブ会員、第 2820 地区パストガバナー／緊急災害支援隊)

令和 6 年能登半島地震 被災地への緊急支援活動 能登半島地震発生

元旦の所作を終え、茨城県の自宅で典雅な雅楽の調べに京の友から贈られた銘酒を傾けたころ、ゆさゆさと始まった揺れはうたた激しくなり、災いの記憶が脳裏をよぎりました。令和 6 年 1 月 1 日午後 4 時 10 分、最大震度 7 を観測した能登半島地震が発生した瞬間でした。

東日本大震災を経験した私たちは被災者の困難が直観でわかるとはいえ、日に日にあらわになる被災地の惨状を目の当たりにし、支援の手が届きにくい現実にロータリアンとして歯がゆさを覚えました。

能登で地域医療を支える神野正博さんと連絡を取ったのは、1 月 6 日のこと。私と同期のガバナーだった神野さんは、七尾市で恵寿総合病院を経営しています。

能登半島の広範囲で水道、道路、空港、港湾、役所、病院をはじめ、多くの社会インフラや住宅が破壊され、治療を必要とする被災者が多数現れました。恵寿総合病院では、いつもの患者のほかに、多くの被災者、そして診療が出来なくなったクリニックからの患者も受け入れ、業務は通常の 2～3 倍になったそうです。そのような困難に直面し、医師や職員も被災してろくな食事も摂れない中、こんな時こそ「医療を止めない」を合言葉に病院を動かしているというのです。

即決断して緊急支援隊を結成

早速、当地区の大久保ガバナーに連絡して恵寿総合病院のための食糧支援を申し出たところ、即答で「すぐに実行するように」との指示をいただき、「2820 地区能登半島地震緊急支援隊」を編成しました。

記事の続きは[こちら](#)

支援金について

第 2610 地区にて、支援受付用の専用口座が開設されています。1 月 10 日に、第 2610 地区より、ガバナー会を通じて各地区へ支援金についてのメールが送られています。地区ごとに支援金をまとめていただき、お送りいただく流れとなります。詳細は、各地区へ送られているメールをご確認ください。

[My ROTARY RIレポート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証の手引き](#)

寄付総額 世界上位5ヶ国

	2024年2月19日現在
アメリカ	\$ 155,281,114
韓国	\$ 18,729,215
インド	\$ 12,121,526
日本	\$ 11,753,491
台湾	\$ 10,688,349

2023-24年度

目標(世界)

- ・年次基金:1億5,000万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:1億4,000万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:6,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):5億ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり 150 ドル
- 年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成 EREY(年次基金への寄付)の推進
- ポール・ハリス・ソサエティの推進(各地区+30名目標)
- ・ポリオプラス:一人当たり 30 ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付 100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへ DDF の 20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野への DDF 寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェロシップの推進

日本の状況

冠名基金数 261
AKS会員数 64
PHS会員数 1434

【日本と海外のDEIへの理解】

寄稿者：宮里 唯子さん(茨木西ロータリークラブ会員、第 2660 地区直前ガバナー、RI&TRF 合同 DEI 諮問委員会委員)

私は現在、国際ロータリーとロータリー財団の合同委員会の一つ、[DEI 諮問委員会](#)の委員を務めています。元 RI 副会長であるバレリー・ウェイファー委員長のもと、10 名(9 カ国)で構成されています。

現在の DEI 諮問委員会のミッションは4つありますが、一言で言えば、開かれた組織へと進化するための戦略を、調査や根拠に基づいて RI 理事会に提案することです。委員の中からは、DEI とは単なる組織改革の手段ではなく、人権にかかわる重要な課題であるとの発言もあり、各国の委員をつなぐ毎月 1 回のオンライン会議は私にとって貴重な学びの機会になっています。

この諮問委員会の前身である DEI タスクフォースは、最初の DEI 調査を実施した 2021 年以来、会員の意識に変化が見られるかどうかを確認するため、2023 年に全世界のロータリー会員を対象に再びアンケート調査を実施しました。アンケートは世界 50 万人(21 カ国語)に配信され、回答率は約 11%、5 万人余りから回答を得ました。

現時点では調査結果について分析中であり、RI 理事会や DEI 諮問委員会で協議を重ねているところです。総体的には、国際ロータリーが DEI を重視しているという事実への認識は高まっているものの、DEI に関する理解や推進への積極性については、地域差こそあるものの、一概に進んでいるとは言えないようです。

記事の続きは[こちら](#)

【侵攻から2年、活動し続けるウクライナのロータリー】

第 2232 地区の会員が現地のニーズ特定、世界中のロータリークラブとの橋渡し、被災者の支援に貢献

ロシアがウクライナに侵攻してから 2 年が経過した現在も、世界中のロータリー会員が資金を集め、医薬品や燃料などの生活必需品を被災者に送り続けています。

ロータリー財団が特設した救援基金(現在は寄付を受け付けていません)には、世界中から 1,740 万ドルの寄付が寄せられました。この寄付は、400 口以上の補助金としてロータリー会員によるさまざまな支援活動に活かされました。

また、世界各地で多くのロータリークラブと地区が地元でウクライナ支援のための人道的活動に乗り出しました。第 2232 地区(ウクライナ)との連携の下、これらの支援活動によって医薬品、医療機器、救急車、発電機、暖房用燃料、冬用備品などの救援物資が被災者に届けられました。

記事の続きは[こちら](#)

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[ロータリーの YouTube](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[ロータリーのラーニングセンターを活用しよう](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[ロータリー財団概要資料](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、[「各種レポート」](#)から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C、クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

認証や、各種レポートの閲覧方法等は、[「寄付・認証の手引き」](#)もご参照ください。

【トルコ・シリア地震救援に200万ドル超の寄付が寄せられる】

地震発生から1年経過した現在もロータリー会員が被災者の支援を継続

100年に一度の規模とされたトルコ・シリア地震から1年が経過した今も、ロータリー会員は引き続き、多くの家族のために仮設住宅を支え、病院で必要とされる必需品を提供する活動を行っています。

この地震の被災者救援のためにロータリー財団が特別に設置した災害救援基金(現在は終了)に対し、世界中から200万ドル以上の寄付が寄せられ、シェルター、医療、そのほかの必要物資を提供する60件の補助金として活用されました。

2023年2月6日に発生した地震で、トルコ南部とシリア北部で55,000人以上が死亡し、1,500万人が被災しました。何十万人もが未だにトルコの仮設避難所で暮らしており、家もなく、安全な水と衛生設備が利用できないまま、2度目の冬を過ごしています。シリアでは、紛争、経済危機、伝染病のためにすでに何百万もの人が支援を必要とする状態にあり、地震によって人道的危機が悪化しました。記事の続きは[こちら](#)

【ロータリー「世界を変える行動人:インパクトの推進者」が選ばれる】

メンタルヘルス、マングローブの保護、若い世代の先住民への支援など、大きなインパクトを生み出したロータリー会員をご紹介します

ロータリーは1月、「世界を変える行動人:インパクトの推進者」として6名の卓越したロータリー会員を選びました。この表彰は、長期的で前向きなインパクトをもたらしたプロジェクトにおける功績を称えるものです。選ばれた会員の活動は、疾病との闘い、地元経済の発展、環境の保護といったロータリーの重点分野に関連しています。

記事の続きは[こちら](#)

【犬たちへの愛のために】

韓国のロータリークラブ会員が犬にやさしい奉仕プロジェクトを実施

防護服を着た20名の若者が、ゲートを開けてフェンスで囲まれた庭に入ります。するとあっという間に何十匹もの大型犬が若者たちに群がります。

元気よく尻尾を振り、人の手を舐め、ぐるぐるとその場で回って、ふざけるように訪問者を頭で押してきます。その喜び方は、人をひっくり返すのではないかと思えるほどです。これは、韓国の利川(イチョン)市にある犬の保護施設での日常です。

「犬たちは嬉しくて飛びかかってくるから、防護服を着用しなくて」と、韓国京畿道のMZロータリーEクラブの代表幹事であるソンヒー・リムさんは話します。「興奮してじゃれついてくるので服に毛が付きますし、引っ掻き傷ができることもあります」 記事の続きは[こちら](#)

【きれいな川を取り戻す】

国連環境機関、淡水の生態系保護に取り組むロータリーに期待

サルバドル・リコさんが少年だった頃、彼の父はメキシコのハリスコ州ブエナビスタの近くに農場を借りていました。近くにはアメカ川が流れており、彼の兄姉は畑にいる父親に弁当を届ける途上でよく泳いでいました。1960年代に姉のアグエダさんがポリオに感染して亡くなったとき、家族は、下水で汚染された川で泳いでいたことが原因だと考えました。母親の膝の上に座ったリコさんは、喪失感から毎晩のように泣く母親を見ていました。その姿が目には焼き付いているというリコさんは、何か力になろうと心に誓ったと話します。

2007年に米国のロータリークラブに入会したリコさんは、その約束を果たすための道を開きました。2年後、彼のクラブであるサウス・ウキア・ロータリークラブ(カリフォルニア州)は地元環境保護団体と協力し、サンフランシスコ北部の重要な水路であるロシアン川の清掃活動を行いました。「汚染された小川や河川を見て、メキシコでの思い出がよみがえった」とリコさん。「ここで清掃活動をして、メキシコの人びとも同じことができるようエンパワメントできるかもしれないと思いました」 記事の続きは[こちら](#)

【サバイバーが後世に残すもの】

サム・ハリスさんの少年時代は、ホロコーストによって奪われました。ハリスさんは今、次世代の若者が活躍できるよう力を尽くしています。

サム・ハリスさんは自分の過去を語り継ぐことに情熱的です。歩行補助器具を使って歩く88歳のハリスさんは、自身が設立を手伝った博物館の少し薄暗い入口で出迎えてくれます。この博物館は、自分が生き抜いた最悪の、そして自分がこの世からいなくなり、直接体験した人たちの声がどんどん小さくなって消え去ってからも、重要なストーリーを後世に語り継いでいくための場所です。

語り継ぐこと、これはハリスさんにとってたやすいことではありませんでした。

保険会社の元重役で、米国イリノイ州ノースブルック・ロータリークラブ会員であるハリスさんは、幼い頃にナチスにどのように迫害されたかについて、長年話したがりがませんでした。ひどい飢え、恐怖心、機関銃、両親の殺害、家畜運搬車、強制収容所……。もう大昔に終わったこと。語ることに何の意味があるだろうか。自分はもうアメリカ人なのだ。シカゴ北部の閑静な街ノースブルックに住む一人のアメリカ人少年となり、そして大人になってからは、何を話したいか、話したくないかを自分で決められるアメリカ人男性となったのだから。記事の続きは[こちら](#)

【インスピレーションはいたるところに】

ロータリー国際大会でよく見かける光景があります。異なるクラブの2人の会員がたまたま出会い、話を始め、プロジェクトのアイデアがひらめく、というものです。

5月25日～29日にシンガポールで開かれる国際大会では、隣に立っている知らない人や食事の時に会った人と恥ずかしがらずに会話を始めてみましょう。実際、ある2人の会員は、2016年国際大会(ソウル)のシャトルバス乗り場で出会い、話を始め、アフリカでのプロジェクトを計画しました。

会員からよく聞くのは、国際大会で出会った人との会話が意義あるプロジェクトにつながったという話です。これはまさに、今年の大会テーマである「世界と希望をわかちあおう」と見事に一致しています。

記事の続きは[こちら](#)

本会議場がマリナーベイ・サンズ・エキスポ&コンベンションセンターに移動したことにより、分科会、友愛の家、ロータリーのチケット制昼食会、青少年交換役員行事と同じ場所となります。これにより、会場間を移動する必要がなくなりました。また、日曜日には開会本会議が2回(午前1回、午後1回)行われます。

※寄付者行事の会場は、現時点変更ありません。

[2024年ロータリー国際大会のページ](#)
[2024シンガポール国際大会に参加しましょう!](#)
[国際大会 寄付者行事](#)

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHSパンフレット](#)

[PHS入会フォーム](#)

[PHS認証状テンプレート](#)

[PHSオンライン入会手続き\(ppt\)](#)

[資金モデルの変更について\(2021年7月より有効\)](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

[災害救援基金へのご寄付に関する最新情報](#)

恒久基金

[「恒久基金 地区の手引き」](#)

[ロータリーの恒久基金](#)

[恒久基金の財務報告](#)

[ロータリー賞](#)

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: $DDF2 + WF1 + \text{ゲイツ} 6 = 9$

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

[DDFオンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区には、次年度に感謝状が贈られます。

【分科会情報】

「Changing the World through Rotary's Endowment」

ロータリーの恒久基金をテーマにした分科会が開催されます。

開催日時:5月28日13:30~14:30

会場:未定

※日本語同時通訳あり

「Together, We End Polio」

ポリオ根絶の最新情報、私たちが支援できることについて、日本からは管理委員の三木明氏が登壇予定です。

5月28日15:30~16:30

会場:未定

※日本語同時通訳あり



【世界中で活躍する「世界を変える行動人」】

世界のプロジェクトをご紹介します。記事は[こちら](#)

寄付・認証

【年次基金寄付ゼロクラブ】

国内外で行われている、ロータリーの世界でよいことをするための活動をご支援いただき誠にありがとうございます。

今年度も年次基金寄付ゼロクラブゼロの目標達成に向け、ご協力をお願いいたします。

- ✚ 会員のお一人でも年次基金へご寄付くださったロータリークラブは、年次基金寄付ゼロクラブではなくなります。
- ✚ ローターアクトクラブはカウントに含まれません。
- ✚ ご寄付が各種レポートに反映されるまで、2週間ほどかかります。

地区別年次基金寄付ゼロクラブ数 2024年2月24日現在

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	16	2620	18	2740	17
2510	7	2630	5	2750	11
2520	17	2640	12	2760	4
2530	18	2650	3	2770	13
2540	18	2660	5	2780	16
2550	8	2670	10	2790	12
2560	6	2680	11	2800	5
2570	2	2690	9	2820	3
2580	9	2700	8	2830	14
2590	1	2710	7	2840	8
2600	6	2720	21	合計	359
2610	20	2730	19		

<地区内の年次基金寄付ゼロクラブの確認方法>

[My ROTARY](#) にログイン→「会員・財団に関するレポート」をクリック、各種レポートの中の「地区に関するレポート」→「寄付&認証」の「レポートを見る」→「月次寄付レポート」にて年次基金の寄付状況をご参照ください。

【恒久基金:2025年までに20億2500万ドル】

恒久基金は投資され、元金が支出されることなく利用可能な収益の一部がロータリー財団のプログラムを支えるというものです。また、プログラムが永続的なものとなるように、2025年までに恒久基金を20億2500万ドルとする寄付目標が立てられています。

✦ 目標

純資産 10 億ドル + 寄付の誓約 10 億 2500 万ドル
= 20 億 2500 万ドル

✦ 現在

合計: 16 億5600 万ドル
目標達成まであと3億6900 万ドル
(純資産 2023 年 11 月 30 日、寄付の誓約 2024 年 1 月 30 日現在)



ウェビナー「2.025 by 2025: World Fund and the Power of the Endowment」が3月8日深夜1時(日本時間)に開催されます。プログラムを支えるためにどのようにWF(世界財団活動資金)が使われるか、WFや恒久基金がどのように、今と未来へつながっていくのか、パネリストたちが議論します。日本語の通訳も予定しています。

[参加登録はこちら\(zoom\)](#) ※先着 1,000 名様まで

ポリオプラス

【日本政府、パキスタンにおけるポリオ根絶事業支援のため、UNICEFに5億1,600万円の無償資金協力を実施】

(2024年1月17日 イスラマバード(パキスタン)発) 日本政府は、パキスタンにおけるポリオ根絶に向けた取り組みへの継続的な支援の一環として、必要不可欠な経口ポリオワクチンを調達するため、国連児童基金(UNICEF)に5億1,600万円の無償資金協力を行うことを発表しました。本資金協力により、2024年のポリオ予防接種キャンペーンに使用される、2,100万回分以上のワクチンが調達されます。

(中略)パキスタンのナディーム・ジャン保健大臣は、「困難な状況ではありますが、パキスタンは来年中にもポリオを根絶させるべく、絶え間ない努力を続けていきます。2024年のポリオ・キャンペーンに向けて準備を進める中、すべての子どもに支援を届けるために立ち足る残された課題の解決に向けて、パートナーと力を合わせて取り組みを続けていきます。」と述べました。記事の続きは[こちら](#)(UNICEF 東京事務所ホームページ)



【画期的なポリオワクチン(nOPV2)をWHOが承認】

変異ポリオウイルスによるポリオ発生を食い止めるために欠かせない新しい手段として、新型経口ポリオワクチン2型(「nOPV2」としても知られる)が各国で入手しやすくなります。これは、12月に世界保健機関(WHO)がnOPV2を承認したことにより可能となりました。WHOの緊急用リストにおいてこの種のワクチンの使用が承認されるのは、今回が初めてです。

すでに10億服近くが投与されているこの次世代ワクチンは、伝播型ワクチン由来ポリオウイルス2型(変異型ポリオウイルス2型とも呼ばれる)に対応し、何百万もの子どもを病気やまひから守る上で重要な役割を果たしていくでしょう。[詳しくはこちら\(英語、GPEI ウェブサイト\)](#)

【パートナー団体からロータリーへの感謝】

世界保健機関

「WHO 本部およびアフリカ地域と東地中海地域での技術的支援、アフガニスタンとパキスタンでの補足的な予防接種活動の運営費、各地でのポリオ発生への対応、ナイジェリアでのサーベイランス、アウトリーチ活動のために 2023 年に 6,919 万米ドルという寛大な寄付をしてくださった国際ロータリーに対し、心より感謝申し上げます」

UNICEF(国連児童基金)

ポリオ根絶から気候変動に至るまで、ロータリーとユニセフは世界の子どもの健康と福祉を守るという共通のコミットメントを掲げ、特別なパートナーシップを築いてきました。12 月、国連気候変動会議(COP28)で、UNICEF のキティ・ファン・デル・ハイデン副事務局長が、ロータリー会員への感謝の動画メッセージを撮影しました。動画の字幕設定を日本語に変更すれば、日本語の字幕入りでご覧いただけます。 [動画を見る](#)

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2024年 1月1日～ 2月20日	2023	2022	2021
常在国	パキスタン	0	6	20	1
	アフガニスタン	0	6	2	4
非常常在国	モザンビーク	0	0	8	0
	マラウイ	0	0	0	1
世界合計		0	12	30	6

ロータリー平和センター



【申請に関する最近の変更 2分間のビデオ】

2月1日より、ロータリー平和フェローの申請が開始されました。候補者はオンラインで5月15日までに申請書を提出します。今期の申請書では、応募者は、平和と開発に対する実践的な取り組みと応募理由についてのビデオを2分以内で用意する必要があります。このビデオは、候補者のプログラムへの情熱やコミュニケーションスキルをアピールする最も重要なツールとなります。詳細は申請書のOverviewをご覧ください。「Personal Statement Video」のセクションからオプションで、直接申請書で録画または事前に用意したビデオのアップロードのいずれかを選択します。

申請資格と申請方法は[こちら](#)

リソース&参考資料

[ロータリー平和フェローシップの申請に求められる経験に関するガイド\(PDF\) \(英語\)](#)

[ロータリー平和フェローシップの詳細](#)

[ロータリー平和センターのフェイスブックページ](#)

【ロータリー積極的平和アクティベーターとつながろう】

寄稿者：マリア・アントニア・ペレスさん(ロータリー平和フェロー、積極的平和アクティベーター)およびチャーリー・アレンさん(ロータリアン、ロータリー平和フェロー、経済平和研究所シニアプラクティスフェロー)

平和の土壌をつくる草の根のピースビルダーたち

2017年、国際ロータリーと[経済平和研究所\(IEP\)](#)は、積極的平和につながる要素を枠組みとしてロータリー会員の知識とスキルを高めるための[パートナーシップ](#)を結びました。

[ロータリー積極的平和アクティベータープログラム](#)は、このパートナーシップによるラーニングプログラムであり、2020年の開始以来、北米、中南米、アジア、ヨーロッパ、東アフリカ、西・中央アフリカで212名が修了してきました。修了した人の中にはロータリークラブとローターアクトクラブの会員、ロータリー行動グループのメンバー、ロータリー平和フェローが含まれています。私たちの目標は、ロータリーのネットワークと積極的平和の枠組みを活かして持続可能な平和を生み出すことです。

このプログラムはまた、ロータリアン、ローターアクター、ロータリー平和フェローの協力を促すものでもあります。アクティベーターたちは、クラブや地域社会で積極的平和に関する890以上の教育活動を行い、全員で合計10,811時間をそのような活動に捧げてきました。

記事の続きは[こちら](#)

【平和の触媒を育てる】

中東と北アフリカでの平和構築をめざすロータリー平和センター

数年前、調停と紛争解決の制度を整えるための司法改革を担う人を探していたサウジアラビア政府は、ある問題に直面しました。「悲しいことに、アラビア語を話せるこの分野の専門家が見つからなかったのです」。こう語るのは、エジプト出身のロータリー平和フェロー、シェリフ・エルネガヒーさんです。幸い、エルネガヒーさんがその直前にアラビア語で共同執筆した本が、サウジアラビア法務大臣の目に留まりました。探していた専門家が見つかったのです。

エルネガヒーさんは、平和構築の知識を備えた専門家の需要が高い中東・北アフリカで働く約100名の平和フェロー学友の一人です。2016年、タイのチュラロンコーン大学にあったロータリー平和センター(現在は終了)を卒業したエルネガヒーさんは、プログラムの意見フォームにこう記入したのを覚えています。「中東にもこのようなセンターを設立する必要がある」。そして今年、数年にわたる構想と計画を経て、ロータリーは平和センターを新設するためにイスタンブール(トルコ)にあるバーチェシエヒル大学と新たなパートナーシップを結ぶことを発表しました。「夢が叶った」とエルネガヒーさんは言います。記事の続きは[こちら](#)

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)

[授与と受諾の条件](#)

更新されました

• [地区補助金用](#)

• [グローバル補助金用](#)

[補助金による旅行](#)

[ロータリーの旅行禁止国リスト](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の方法](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

[ローターアクターによるロータリー](#)

[補助金の利用 よくある質問](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野ガイド](#)

[重点分野別ガイドライン](#)

• [基本的教育と識字率向上](#)

• [疾病予防と治療](#)

• [地域社会の経済発展](#)

• [母子の健康](#)

• [平和構築と紛争予防](#)

• [水と衛生](#)

• [環境](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[ロータリーショーケース](#)

[プロジェクトフェア](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[重点分野の担当職員](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイド奨学生](#)

[グローバル補助金申請書のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェローシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<補助金の参加資格認定>

[参加資格の認定](#)

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[地区の参加資格認定 FAQ](#)

[地区資金管理計画ガイド](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)

補助金

【補助金管理セミナー】

地区で開催される補助金管理セミナーへの参加は、クラブが補助金への参加資格認定を受けるために必要な3つの条件のうちの一つです。補助金の参加資格認定を受けることは、地区補助金の利用については地区の裁量、グローバル補助金の申請には必須となります。地区補助金の申請にも参加資格を求めている地区では、グローバル補助金と両方の説明をする十分な時間が取れないこともございます。ぜひ、ラーニングセンターの補助金管理セミナーのコースを合わせてご活用ください。

当日のラーニングとオンラインコースで事前に学ぶ二つの方法を融合することで、セミナーをより実践的で、充実した学びの場とすることができます。

参加資格認定に関連するリソース

- ✦ [参加資格認定のウェブページ](#)
- ✦ [ラーニングセンター 補助金管理セミナーのコース](#)
- ✦ [地区資金管理計画ガイド](#)

2024-25年度地区補助金 申請上限額について

2024-25年度地区補助金の申請書に表示される申請上限額につきまして、一部正しく反映されていないエラーが発生しており、只今調査中です。次年度に向けてご準備を進めてくださっている地区の皆さまには、大変ご迷惑をおかけしており誠に申し訳ございません。エラーが解消されましたら、改めて財団室NEWSでもお知らせいたします。

【グローバル補助金の拠出金の送金について】

グローバル補助金の拠出金に関するご相談やご質問が多く寄せられています。ロータリー財団へのほかの寄付(年次基金やポリオプラス基金など)と送金方法は同じですが、これまで寄付の手続きを事務局に任せているなどロータリー財団への寄付の方法をそもそもご存じない方も多くいらっしゃるようです。

また、補助金に関する連絡は、会員の方宛に送られ、事務局やクラブのメールには送られません。英文のことが多いため迷惑メールに仕分けられてしまうこともあります。パートナーや担当者から何度も送金について連絡されている場合もあります。補助金に申請している場合は、英文のメールにもご留意ください。

ロータリー財団への寄付の詳細は、「[寄付・認証の手引き](#)」参照

ほかの寄付との相違点

- ✦ 寄付額(USドル)が決まっている(申請書にクラブの拠出額を記載)
- ✦ 送金時のRIレートで送金する(日本円で寄付額を決められない)
- ✦ 経費負担のため5%上乘せが必要(補助金はすぐに使われ、運用益が出ないため)
- ✦ 送金時期は承認後(6か月以内)
- ✦ 寄付送金明細書の寄付分類には補助金番号を記載

寄付額や入金状況は、My ROTARY のレポートの[補助金に関するレポート](#)から「補助金の詳細」レポートで確認できます。直接プロジェクトの口座に入金し、ロータリー財団の寄付にしない方法もあります。

【山火事・森林火災を未然に防ぐグローバル補助金プロジェクト】

寄稿者:大澤 力さん(新潟西ロータリークラブ)

日本で初めて承認された「環境」重点分野でのプロジェクト 切迫していく地球環境

世界気象機関(WMO)とコペルニクス気候変動サービスは、2023年6月~10月の5カ月間連続で地球の平均気温が過去最高を更新したと発表しました。この世界的な高温は、エルニーニョ現象の強まりなどが大きな影響を及ぼしていると考えられますが、それだけでは説明が難しく、長期的な地球温暖化(気候変動)の影響が加わっていることが確実です。

そんな2023年の夏、世界各地から山火事や森林火災のニュースが多く報告されました。8月にはハワイ、マウイ島の火事でとても痛ましく凄惨な映像がTVのニュースで報道されました。まさに、ああいった山火事や森林火災を環境整備によって未然に防ごう、起こったとしても被害を最小限に食い止めよう、というグローバル補助金プロジェクト(ドイ・ジョラケ丘陵の環境保全)についてご紹介します。記事の続きは[こちら](#)

【グローバル補助金-奨学金のヒント】

相手側の代表提唱者を探すには

受入地区にホストの依頼をするための連絡先については、My ROTARYの[クラブ検索](#)や、[会員検索](#)(ロータリー会員のみに)などをご利用いただけます。補助金プロジェクトのパートナーを探すため7月末に地区ガバナーや地区ロータリー財団委員長、補助金、奨学金、VTTの各小委員長あてに、それぞれの委員の連絡先情報リンクの付いたメールが送られていますのでこちらもご活用ください。連絡先が見つからない場合も、地区を特定してからご相談いただくようお願いいたします。

どのように依頼してよいかわからない場合は、サンプルがありますので、財団室または担当のRGOまでご依頼ください。

■ 受入地区から返信がなかなか来ない場合、一度メールを受け取っているかどうか状況を確認するとよいでしょう。相手地区のウェブサイトを検索で探し、コンタクトフォームから連絡すると回答がもらえることもあります。

担当 RGO (Regional Grants Officer)

- ・ 第1地域:セシリア・ウォルター(Cecelia Walter Cecelia.Walter@rotary.org)
- ・ 第2、3地域:スティーブン・サンドストローム(Steven Sundstrom Steven.Sundstrom@rotary.org)

【新しいアプローチでメンタルヘルスケアへのアクセスを広げる】

極度の近視であるリチャード・オキディさんは、視力の低下が進んで黒板の字が見えなくなったとき、学校に通うのをやめました。勉強を続ける友人たちから取り残されたと感じたオキディさんは、希望を失いかけていました。

「この年で視力がこんなに悪いなら、40歳になる頃には何も見えなくなるのか、と不安でした」と、ウガンダのアガゴ県に住むオキディさんは言います。

自殺も考えましたが、そんなとき、カウンセラーに出会いました。

「私の心の状態について説明してくれました。カウンセラーのサポートのおかげで、(自殺願望を)乗り越えることができました」と、非営利団体 Finemind が制作した動画の中でオキディさんは語っています。

オキディさんが受けた治療は比較的簡単なものでしたが、注目すべきなのは、カウンセラーのサポートを受けられたことです。ウガンダでは、メンタルヘルスを専門とする医療従事者の数は、10万人中3人以下の割合。2020年の時点で、総人口が4,400万人以上であるのに対し、精神科医は42人しかいません。

オキディさんがカウンセリングを受けられたのは、ロータリー財団グローバル補助金のおかげでした。

記事の続きは[こちら](#)

【大規模プログラム補助金の申請のヒント】

2025 年大規模プログラム補助金のコンセプトノートの提出締切日は、2024 年 8 月 1 日です。次の申請サイクルでは、一つ以上の外部パートナー団体からの少なくとも 50 万米ドルの現金拠出が提案書に含まれている必要があります。申請プロセスについて詳しく知るために、以下のウェビナーにご登録ください。

2024 年 3 月 21 日「Programs of Scale Competition: Insights and Tips for Applying(大規模プログラム補助金:競争制による申請のためのヒント)」

発表は英語で行われます。ご希望の時間帯をクリックしてご登録ください。

- 米国シカゴ時間午前 8 時(日本時間は同日午後 10 時)の部:フランス語、ポルトガル語、スペイン語の同時通訳
登録は[こちら](#)
- 米国シカゴ時間午後 4 時(日本時間は翌22日午前 6 時)部:日本語、韓国語、中国語の同時通訳
登録は[こちら](#)

留意事項: 米国では 3 月 10 日から夏時間となります。

過去の受領プログラムおよび大規模プログラム補助金の申請方法は、My ROTARY の[大規模プログラム補助金のページ](#)からご覧ください。

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。
地区・クラブでも感謝の機会をお創りください。

2024年1月1日～2024年2月20日確認分 (敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2500	釧路北	足立 功一	2570	本庄	高柳 育行
2690	岡山	末長 範彦	2530	郡山南	伊藤 治
2550	足利東	中谷 研一	2680	宝塚 武庫川	大室 備
2780	横須賀	長尾 和典	2770	大宮	中川 高志
2780	秦野中	小野 良太郎	計9名		

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

2月号の大口寄付者のお名前に誤りがございましたので、下記にて訂正の上、お詫び申し上げます。ご迷惑をおかけし、申し訳ございません。

<誤>

第2570地区 行田さくらロータリークラブ 五十幡和典様

<正>

第2570地区 行田さくらロータリークラブ 五十幡和彦様

<ロゴ>

[ブランドリソースセンター](#)
ロゴのテンプレート、クイックガイド
「END POLIO NOW」のロゴ
ラーニングセンターの「公共イメージ」
のコース内の、ロータリーのロゴやブ
ランドのコースもご活用ください。

[クラブ推進の強い味方:ブランドリ
ソースセンター](#)
[クラブで SNS を活用するヒント](#)

[今後の予定](#)

5月25日 ～29日	ロータリー国際大会 (シンガポール)
---------------	--

国際ロータリー日本事務局財団室
〒108-0073
東京都港区三田 1-4-28
三田国際ビル 24 階
Email: RIJPNTRF@rotary.org
Tel: 03-5439-5805
Fax: 03-5439-0405

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やク
ラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に
関するロータリーの方針](#)をご参照ください。

ロータリー財団 2023-24年度 1月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,185	99.26	216,885.63	29,626.63	116,413.24	1,614.15	364,539.65	246%
2510	2,355	90.39	212,862.04	27,126.18	39,472.28	6,207.47	285,667.97	100%
2520	2,006	49.82	99,948.64	32,002.81	25,041.10	3,247.25	160,239.80	112%
2530	2,162	51.43	111,199.07	29,061.57	3,519.11	738.25	144,518.00	95%
2540	1,101	33.35	36,720.41	2,566.82			39,287.23	94%
2550	1,591	109.51	174,237.93	31,738.94	17,204.08	4,599.00	227,779.95	131%
2560	1,986	87.93	174,638.32	31,452.61	1,190.48	68.49	207,349.90	96%
2570	1,537	95.95	147,476.23	53,988.30	72,529.98	3,100.00	277,094.51	119%
2580	2,878	123.01	354,029.93	90,624.19	84,873.94	26,442.50	555,970.56	120%
2590	1,830	133.06	243,496.37	46,978.56	24,136.05	10,068.49	324,679.47	103%
2600	1,792	89.44	160,277.18	83,223.23	8,141.26	5,684.61	257,326.28	133%
2610	2,438	69.03	168,304.86	24,667.74	1,546.34	711.10	195,230.04	103%
2620	2,821	85.21	240,382.52	49,005.03	24,084.63	9,105.97	322,578.15	112%
2630	3,004	100.93	303,193.87	51,698.88	40,226.37	10,983.50	406,102.62	107%
2640	1,548	81.63	126,356.61	18,387.14	3,100.40	473.03	148,317.18	91%
2650	4,160	135.08	561,953.20	98,495.78	44,733.88	11,834.87	717,017.73	116%
2660	3,385	145.02	490,894.07	176,189.65	130,309.21	32,839.92	830,232.85	107%
2670	2,822	68.73	193,957.92	46,402.98	2,100.67	310.80	242,772.37	105%
2680	2,499	80.91	202,191.71	41,052.52	247,714.78	9,858.26	500,817.27	187%
2690	2,861	100.91	288,713.73	77,575.50	59,656.00	2,008.01	427,953.24	118%
2700	3,028	50.91	154,159.17	32,871.33	2,000.00	2,163.44	191,193.94	99%
2710	3,104	111.44	345,894.90	70,822.22	100,601.00	70.92	517,389.04	119%
2720	2,298	91.73	210,798.28	31,078.92	13,169.95	5,339.74	260,386.89	100%
2730	2,297	39.03	89,650.65	19,223.83	2,178.37	4,662.10	115,714.95	105%
2740	2,058	42.36	87,181.51	26,516.50	1,100.00	2,068.49	116,866.50	122%
2750	4,479	138.48	620,250.21	138,158.25	151,172.89	16,126.62	925,707.97	111%
2760	4,516	126.57	571,588.85	131,791.22	35,082.49	43,710.46	782,173.02	117%
2770	2,251	139.78	314,635.06	88,063.18	49,800.00	6,859.51	459,357.75	102%
2780	2,346	102.29	239,983.98	94,099.95	27,211.44	1,877.24	363,172.61	102%
2790	2,624	99.21	260,337.58	51,945.39	24,125.85	5,237.24	341,646.06	97%
2800	1,463	78.60	114,988.62	16,629.90	4,353.89	206.90	136,179.31	107%
2820	1,852	146.05	270,493.37	56,794.68	21,075.00	1,500.00	349,863.05	97%
2830	1,082	58.31	63,092.30	11,875.63	2,638.72	3,346.37	80,953.02	109%
2840	2,003	92.56	185,394.18	37,633.20	11,186.32	409.11	234,622.81	95%
日本	82,362	97.57	8,036,168.90	1,849,369.26	1,391,689.72	233,473.81	11,510,701.69	113%
世界	1,153,717	63.21	72,926,056.80	22,920,676.93	27,308,230.56	15,072,395.67	138,227,359.96	
日本の 割合	7.14%	-	11.02%	8.07%	5.10%	1.55%	8.33%	

※ウクライナ救援基金・パキスタン洪水救援基金・モロッコ地震救援基金へのご寄付は12月末までの受付となります。2023年7月以降、上記の一時的な基金およびロータリー災害救援基金への寄付は、「その他の基金」に含まれます。